

肝炎 Q&A

よくあるご質問に
お答えします。

どんな治療法があるのですか？

従来、注射による治療や、注射と飲み薬を組み合わせる治療が行なわれてきました。最近では、病状によっては、1日1～2回服用する飲み薬のみで治療する選択肢もできています。

治療費はどれくらいですか？

治療費助成制度があるため、自己負担額はひと月あたり10,000円または20,000円です。(世帯全員の市町村民税(所得割)課税年額によります)

どこの病院へ行けばいいですか？

岡山県内に肝炎一次専門医療機関が100カ所以上あります。以下から探すことができます。

岡山県 肝炎対策

治療期間は？

3ヵ月または6ヵ月です。薬や病状によって異なります。

仕事や日常生活に影響しませんか？

入院して仕事を休んだり、就業中に治療のために業務を中断するようなことは、ほとんどありません。また、治療中は禁酒すること以外、とくに生活を変える必要はありません。
※病状によっては入院を勧められる場合もあります。

治療による身体の負担はありますか？

病状により個人差があります。たとえば飲み薬のみでの治療は、3ヵ月間、1日1～2回服用するだけで負担が少ない治療法と言えます。

通院の頻度は？

飲み薬の服用中は、原則として2週に1回通院し、必要に応じて採血などを行ないます。

今こそ、たたけ！ 肝炎ウイルス



(画像はイメージです)

入院しないで肝炎ウイルスをたたき飲み薬も、できました。

肝炎ウイルスを放置しておくと、
肝がんに進む可能性があります。

肝機能の数値が基準内でも、肝がんに進んでいることがあります。

岡山県の肝臓相談窓口にお電話を 月～金曜日(祝日・年末年始を除く)9時～17時

086-235-6851 岡山大学病院
岡山県肝炎相談センター

岡山県 保健福祉部 健康推進課 感染症対策班
TEL: 086-226-7331 FAX: 086-225-7283

このリーフレットは、佐賀県データ活用プロジェクトの調査・分析結果および平成27年度厚生労働科学研究費補助金(肝炎等克服政策研究事業)効率的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築のための研究(佐賀分科会)で作成されました。

岡山県の肝臓相談窓口にお電話を 月～金曜日(祝日・年末年始を除く)9時～17時

086-235-6851 岡山大学病院
岡山県肝炎相談センター

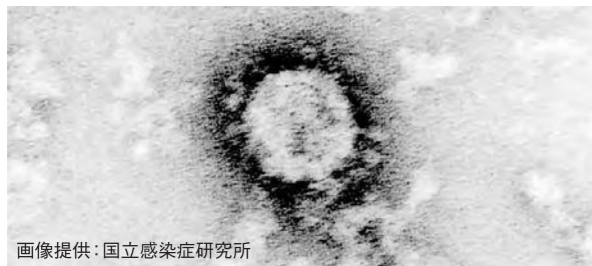
肝臓をちゃんと調べて、肝炎ウイルスをたたきましよう。

まず、精密検査で肝臓の現在の状態を調べましよう。



■ ウイルス量検査 (検査時間:約10分)
血液中の肝炎ウイルス量や型を調べます。

■ 超音波検査 (検査時間:約20分)
超音波で肝臓の状態を調べます。



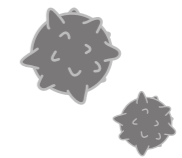
画像提供:国立感染症研究所



精密検査について気になることは岡山県の肝臓相談窓口にお電話を
月～金曜日(祝日・年末年始を除く)9時～17時

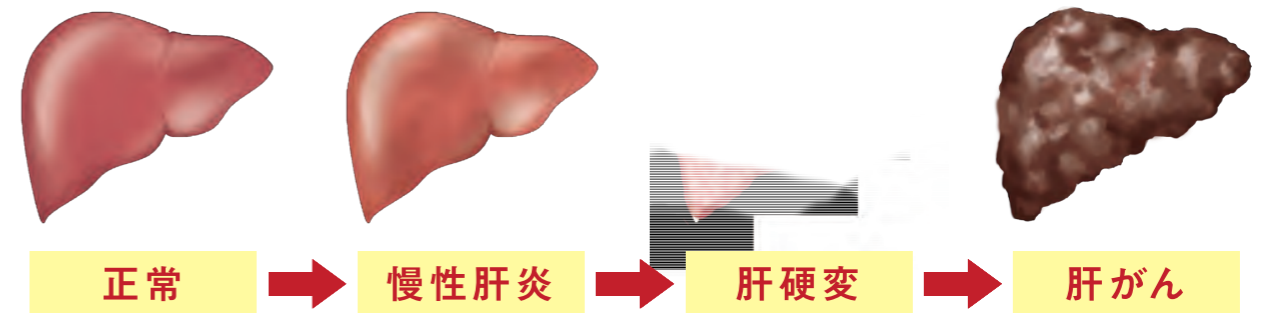
086-235-6851 岡山大学病院
岡山県肝炎相談センター

肝炎ウイルスは、肝炎、肝硬変、肝がんの原因です。



肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれるほどがまん強く、肝炎が進行していても、自覚症状がないことも珍しくありません。

肝炎ウイルスから発症する病気



場合によっては、肝炎から突然肝がんを発症することもあります。

普段の生活をしながら、飲み薬で肝炎ウイルスをたたく方法もあります。

肝炎の薬は急速に進歩し、近年飲み薬だけで肝炎ウイルスを治療することもできるようになりました。入院の必要もないため、仕事を休むこともなく治療できます。



※ 病状によっては入院して治療を受けることがあります。

3カ月だけ飲む薬もできました。*

服用期間が3カ月の薬もあります。*
服用中は禁酒すること以外生活を変える必要はなく、身体への負担もわずかです。

※ 病状によって、服用期間が6カ月の場合や注射による治療の場合もあります。



今なら、治療に助成制度が利用できます。

治療費用

助成制度を利用すれば、治療費のほとんどをまかなえます。

〔自己負担額:10,000円または20,000円* × 治療期間(月)〕
〔*世帯全員の市町村民税(所得割)課税年額によります〕
治療費助成を受けるためには、医師の診断書が必要です。まずは精密検査を受けましよう。

